

こども食堂の開催・調理体験

- 経済的や時間的な理由により子供の食事や生活環境が十分でなく、家庭的な環境の中で食べる機会の少ない「孤食」の問題が指摘されている。
- このため、こども食堂TOCCA(トッカ)等において未就学児からお年寄りまで幅広い世代が一緒に食事がとれるような環境を提供するとともに、栄養バランスのとれた食事の大切さを伝えるために、地場産物を使った調理をして試食をした。

富山県



【取組の内容】

○ こども食堂TOCCAの開催

高岡市及び富山市でこども食堂TOCCAを開催し、共食の場を提供した。未就学児、小学生、中学生、高校生、市民を対象として、延べ908名が参加した。



(夏野菜料理を食べている様子)



(ちまきを食べている様子)

○ こども食堂TOCCAでの調理体験

富山市でのこども食堂で地場産物を活用してお味噌汁等の調理体験を実施した。未就学児、小学生、中学生、高校生、市民を対象としており、延べ270名が参加した。



(防災食として調理したおにぎり)



(お味噌汁等の調理体験の様子)

【取組の成果】

- 調理体験の内容は防災クッキング等としたことで、自ら考えて行動できる子供を育てる取組にすることができた。
- 参加者からは、「普段は好き嫌いが多いけど、みんなと食べると楽しそうに何でも食べてくれる。」、「初めて見る食材や料理があり、子供が興味津々だった。」等、また共食したいという声があった。

【事業の目標】

○ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

事業実施前 74.8%

事業実施後 82.0%

○ 地域等で共食したいと思う人が共食する者の割合

事業実施前 70.7%

事業実施後 87.0%

